

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院産婦人科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：宮崎県の妊婦の梅毒感染動向に関する横断研究

1. 研究の概要

日本では近年、梅毒の感染者数が増加しています。2011年から増加傾向が見られ、2025年現在もその傾向は続いている。国立感染症研究所によりますと、2024年の梅毒報告例数は約15,000件であり、2023年からは横ばいの状況となっています。

20～29歳は妊娠適齢期とされていますが、女性の梅毒報告件数はこの年齢層が飛び抜けて多くなっています。この年代の女性が梅毒に感染することは非常に危険です。実際に、それを裏付けるように妊娠梅毒の症例数も増加傾向にあります。妊娠中に梅毒に感染すると、死産や流産、先天性梅毒などの深刻な事態を引き起こすことがあります。そのため、梅毒は根絶すべき性感染症であるといえます。そこで本研究では、過去10年間の宮崎県における妊娠梅毒症例数を分析し、県内の動向およびその原因を明らかにすることを目的とします。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学大学院看護学研究科 金子 政時

2. 目的

本研究は、宮崎県の妊婦を対象に宮崎県の梅毒罹患した妊婦の動向とその原因を明らかにすることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から2027年3月31日まで

4. 対象者

2019年01月01日～2025年12月31日の宮崎県内の梅毒妊婦が対象となります。

5. 方法

宮崎県衛生環境研究所(責任者様：野中勇志)の資料から、宮崎県在住で妊娠中に梅毒に罹患した女性の数、届医療機関レベル、診断時妊娠数週、先天性梅毒の有無、胎児生存に関する情報を利用させていただき、この情報を元に妊娠梅毒の動向、原因を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことといいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院産婦人科

氏名 金子政時

電話：0985-85-0988